平成 31 年 3 月 5 日発行　毎月 1 回 5 日発行　オイスカ通信 665 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ

FURUSATO！ 3 月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

ようこそ！ 四国研修センターへ 新・研修生紹介

今年、オイスカ四国研修センターでは、家政研修生 1 名と地域開発研修生 5 名の計 6 名を受け入れます。その 6 名が 2 月 21 日（木）、23 日（土）に無事入所しました。皆様にお会いできることを楽しみにしています。これからよろしくお願いします。

名前	マテ
出身国	ミャンマー
研修コース	家政
年齢	29 歳
好きな食べ物	野菜、肉
趣味	料理、ダンス

名前	イカ
出身国	マレーシア
研修コース	地域開発
年齢	23 歳
好きな食べ物	野菜、肉
趣味	バトミントン

名前	オリバ
出身国	メキシコ
研修コース	地域開発
年齢	28 歳
好きな食べ物	野菜、肉
趣味	サッカー

名前	カティ
出身国	メキシコ
研修コース	地域開発
年齢	23 歳
好きな食べ物	タコス
趣味	ダンス

名前	ナバ
出身国	モンゴル
研修コース	地域開発
年齢	23 歳
好きな食べ物	野菜、魚
趣味	読書

名前	アモス
出身国	パプアニューギニア
研修コース	地域開発
年齢	23 歳
好きな食べ物	野菜、肉
趣味	サッカー

只今 基礎研修中！

【日本語の授業】
これから日本語が必須になるので、一生懸命授業を受けています。

【食事のマナー】
箸の使い方等を教えてもらっています。

【ごみの分別】
日本でのゴミの分別の方法を学んでいます。

綾川町民綱引き大会参加！

2 月 24 日（日）に 13 回綾川町民綱引き大会にセンター全員で出場しました。この綱引き大会は、新研修生が日本に来て最初に参加する大イベントです。

今年は入国が大会の 3 日前ほどで、日本語も聞きなれていない研修生たちは、見よう見まねで綱を握りました。結果は、健闘むなしく全敗…。力だけでは勝てないのが綱引きです。腰を低くし、上を見ながら引く独特の姿勢は、研修生にとって難しかったようです。それでも「オイスカあと少しだったね」と他の出場者から声をかけていただくなど、毎回暖かく迎えてくださる地元綾川町の皆様に感謝です。また、試合は負けてしまいましたが、他のチームの白熱した試合には研修生も興奮し声援を送っていました。次回はリベンジ頑張ります！（永山）

この大会でスタッフと研修生の距離が近づきました。これから一緒に頑張りましょう!

自然養鶏会四国ブロック交流会　参加

当センターでは、平飼い養鶏を行っています。以前は、自然養鶏会というグループに 2 月 24 日（日）参加していましたが、担当者も変わり今ではご無沙汰になっていました。知り合いの養鶏農家から交流会があるという誘いを頂き、参加してきました。

会では、懐かしい面々にも会えましたが、私が初めて会う方から「オイスカも久しぶりだね」と声をかけて頂き、四国センターが養鶏を始めたころの話や農家達の管理方法などを聞くことができました。ベテランの農家から新米の方達も参加しており、養鶏の鶏舎や卵の管理等、知らないことも共有することができました。

最近は養鶏の勉強も滞っていましたが、それぞれの飼育方法や悩みを聞きながら、有意義な話をすることができました。また新規で始めた人たちにも皆さんが温かくアドバイスをしていました。

研修の指導が主ではありますが、まだまだ未熟な自身の指導力や知識向上のために勉強する機会をもっと設けたいと思います。（矢野）

味噌作り ～今年も美味しくなあれ～

毎年この時期になると、スタッフ、研修生総出で味噌作りを行います。

今年は、2 月 26 日（火）に計 135 kg の味噌を作りました。3 つのグループに分かれて作業をし、新しく来た研修生と会話を交えながら、楽しく作ることができました。今回作った味噌は、来年に食べられる予定です。

私は、今回が初めての味噌作りだったので、研修生と楽しく作りましたが、来年はしっかりと教えられるようになりたいです。来年食べられるのが楽しみです。（金澤）

3 月の予定

月日	曜日	イベント名	主催・協力	場所
3 月 7 日	木	四国支部常任幹事会	四国支部	四国支部
3 月 9 日	土	平成31年オイスカ研修生入所式	四国研修センター	四国研修センター
3 月 22 日	金	チャリーティーゴルフ	四国支部（主管　坂出推進協議会）	高松カントリークラブ
3 月 29 日	金	技能実習生 4 名入所	四国研修センター	四国研修センター

「FURUSATO！」3 月号　発行
公益財団法人　オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

OISCA × VALLE BOOKS
古本で！「子供の森」計画サポートプロジェクト

タイ北部
「森林再生と生計向上プロジェクト」視察報告記

2月5日（火）～9日（金）、タイ北部チェンライ県等でオイスカが取り組んでいる「山岳地帯の貧困層を中心とした対象地域における森林保全・再生と生計向上プロジェクト」（日本NGO連携無償資金協力事業）を視察しました。

タイ王国においてオイスカは、主に5つの地域で活動していますが、チェンライ県を中心とする北部4県では、焼畑や商業利用のための伐採などで急速に失われつつある森林の再生のため、約20年前から企業・団体等の支援協力を得て植林に取り組んできました。2016年からは、成長した森林を活かした産業の育成や山岳地帯の貧困住民の収入向上を目的として、3ヵ年計画で事業を実施しています。具体的には、養蜂・山菜栽培・魚の養殖・養豚・育牛などで、これらの取り組みにより森林との共生（適切な土地利用、森林の維持・管理、住民の意識改善など）が図られつつあることを確認しました。

～タイでのオイスカの活動～

養蜂で採取したハチミツは販売しているそうです。

四国研修センターのOBが、各分野で活躍をしていました！
これからも頑張って下さい！

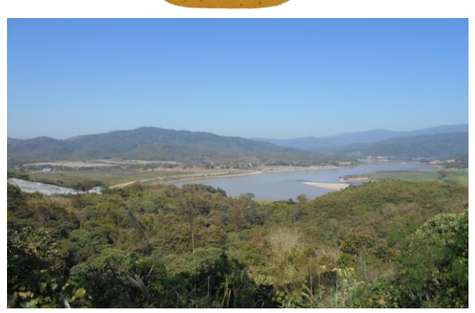
また、北部タイ地域責任者ソンポン氏（1992年）、タイ総局事務局長ヤット氏（1992年）、チェンライ高校農業教師チューサック氏（2004年）など、四国研修センターOB3名と面会でき、それぞれ活躍している様子も確認できました。

視察最後には、タイ・ミャンマー・ラオス3ヵ国の国境が接するゴールデントライアングルを訪れ、中国資本によって約8年続いている、ラオス側の建設ラッシュに驚かされたことも併せて報告します。

（四国支部・池田）

～森林再生計画の成果～

【植林活動の様子(2010年8月)】



【植林地遠景(2019年2月)】

広報、啓発普及の一環で、発表する機会を頂きました。

長尾ライオンズクラブで発表

2月15日（金）、長尾ライオンズクラブの例会に参加した際に、母国である「ベトナムについて」と「四国研修センターで勉強していること」について発表をしました。最初はうまくできるか心配だったので、先生方に見てもらって何回も発表内容を練り直しました。

たくさん練習したので、当日は緊張せず、上手に発表することが出来ました。発表後は、ライオンズクラブの方からたくさんの質問を頂きました。会食中もベトナムの人口や、民族についての話をしました。日本語も去年より上達しているので、話がより一層弾みました。皆さんがベトナムに興味を持ってくれたのが、とても嬉しかったです。

この発表で、自分がベトナムへ帰ってやりたいこと、これから勉強したいことを改めて感じることが出来ました。残りの研修も充実できるように頑張りたいです。（家政研修生・トウ）

皆さんに分かりやすい発表が出来ました。

香川県立農業大学校で講義

香川県立農業大学校の要請を受けて2月13日（水）に私と研修担当のリッチーが琴平町の農業大学校で講義を行いました。昨年度からJICA四国の推薦を受けて実施しているものです。国際農業論の一環として、海外の農業の動向と農業政策についての理解を深めることを目的に担い手養成科の第1学年の32人を対象に行いました。

2時限3時間の講義で、1時限目は、「国際協力における農業と人材育成」ということでオイスカが、東南アジアの国々で行っている農業施策や植林活動等を説明しました。2時限目は、4年前テレビ東京系列で放映された西日本研修センターの研修生の研修状況を中心に紹介しました。日頃受けている講義とは、全然違う内容だったので、最初は少し戸惑う学生もいましたが、思ったより講義に関心をもって聞いてくれました。（小野）

私は養蚕について講義をしました。私のふるさとフィリピン、ネグロス島にあるオイスカバゴ研修センター（以下、バゴセンター）では、養蚕が有名です。私が研修生の時、バゴセンターで養蚕の研修を受けました。その研修が活かされ、日本でもイベント出展のために蚕の飼育を何度かしました。

今回学生には、フィリピンの養蚕の歴史や、卵からシルクになる過程を発表しました。発表準備の時に、今よりも詳しく説明ができるように、当時養蚕を教えてくれた長野県の先生に連絡をしたり、大学生が理解できるように写真選びも工夫しました。当日はとても緊張しました。上手く日本語が伝わらないこともありましたが、学生たちは聞いてくれました。スタッフとして3年近く日本にいますが、このようなことは初めてで、いい経験になりました。（リッチー）

オイスカ四国研修センターで発表

国際ボランティアとして2月13日（水）から2月28日（木）まで滞在していた中村さんにオイスカ中部日本研修センターの活動について発表して頂きました。